

検察による浦和裁判の 不当求刑を断じて許さない！

2月21日、浦和裁判において、美世志会の仲間に対して検察から懲役2年～3年の論告求刑が行われた。検察は、「強要」などという事実がまったくないにもかかわらず、検察はこの4年間のデタラメを無理矢理つなぎ合わせ、恥も外聞も捨て、法を好き勝手に引用しての異常な論告求刑を行った。

検察は、美世志会の仲間に対して「厚顔無恥」などと論告をしたが、厚顔無恥なのは美世志会の仲間が無実であると知っていて、事件をデッチ上げた公安・検察の方である！

公安や検察による反動は、JR総連が進めている平和を守ることに對する破壊策動の何ものでもない。2月15、19日の不当家宅搜索も、あきらかに悪宣伝のための暴挙であり、今回の異常求刑も同質のものである。

私たちは怒りを持ってこの論告求刑を許さず、7月17日の完全無罪判決に向けて最大限の闘いをしていく。

**厚顔無恥なのは、事件を
デッチ上げた公安・検察だ！**



**不当求刑弾劾！
第56回公判報告集会より**

